

サーバーワークスが『いちばんやさしい新しいAWSの教本 人気講師が教えるDXを支えるクラウドコンピューティング』（インプレス刊）を執筆！

アマゾン ウェブ サービス（以下：AWS）のAWS プレミアティア サービスパートナーである株式会社サーバーワークス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：大石 良、以下：サーバーワークス）は、『いちばんやさしい新しいAWSの教本 人気講師が教えるDXを支えるクラウドコンピューティング』（インプレス刊）を執筆いたしました。

● 初心者でもわかりやすい"AWSの教本"


本書ではAWSの基本的なサービス紹介はもちろん、サーバーレスやCI/CDなど効率的にアプリケーションを開発・運用するためのノウハウをふんだんに解説。この1冊で知っておくべきAWSの機能が一通り理解できるほか、実践的な活用方法まで身につきます。著者はAWS導入支援に豊富な実績を持つ、サーバーワークス社員の中村哲也と近藤恭平。オールカラー＆豊富な図解で初心者でも読みやすくなっています。

Lesson

01

【クラウドの特徴とメリット】

AWSって何だろう？



このレッスンのポイント

AWSはクラウドサービスの1つです。さまざまなシステムやアプリケーションで非常によく使われており、近ごろの開発では欠かせない存在となりつつあります。AWSとは、そもそも何かという点から解説していきます。


○ AWSはクラウドコンピューティングサービス

Amazon Web Services（以降、AWS）は、インターネット通販で有名なAmazon社が提供している、クラウドコンピューティングのサービスです。クラウドコンピューティング（以降、クラウド）とは、利用者がインフラストラクチャ（インフラ）やソフトウェアを所有しなくとも、インターネットなどのネットワークを通じて、それらのインフラやソフトウェアを利用できるサービスの総称です（図表01-1）。たとえば、皆さんが日頃から利用している

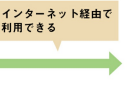
電気やガス、水道などの社会インフラも、発電機の購入やメンテナンスなどを気にせずに使いたいときに使えるサービスです。それと同じように、インフラやコンピューターを所有せず、かつ、購入やメンテナンスなどを気にせず利用できるサービスが「クラウド」なのです。AWSを使うと、AWSが管理しているデータセンター内のハードウェアを借りて、サーバーを稼働させることができます。

▶ クラウドサービス 図表01-1


エンドユーザー



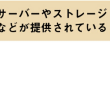
インターネット経由で利用できる



クラウド



サーバーやストレージなどが提供されている



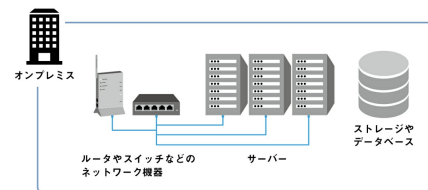
ネットワークを通じてインフラやサーバーを使うのが「クラウド」

○ クラウドが登場する前の形態～オンプレミス

クラウドが登場する以前は、利用者の施設内にサーバーやネットワーク機器を配置して、利用者自身が物理的な機器を運用する、**オンプレミス**と呼ばれる形態が主流でした（図表01-2）。オンプレミスには、利用者が選んだ機器を自分たちにあわせてカスタマイズできるため、柔軟性の高いシステムが構築できるというメリットがあります。しかし機器の選定と購入や設置までに時間がかかる、物理機器のメンテナンスなどの知識・技術が必

要、機器の運用を自分たちで行う必要がある、といったデメリットも存在します。また、サーバーを誰でもアクセスできる場所に配置しておくセキュリティ上危険なため、サーバールームを用意して隔離を行う必要があります。そして、熱によるサーバー障害を避けるための空調管理や、自社内にサーバールームや物理的な機器が多くなってきたら、データセンターなどの大掛かりな設備も必要になってきます。

▶ オンプレミス 図表01-2



オンプレミスの場合、インフラやサーバーを一から調達し、運用もすべて自分たちで行う必要がある

クラウドは「雲」を意味する単語であり、もともとはネットワーク図でインターネットを表現する際に雲のアイコンが利用されていたことが名称の由来です。AWS以外のクラウドには、Googleが提供している「Google Cloud」やMicrosoftが提供している「Microsoft Azure」などがあります。



● 本書は以下のような方におすすめです

- ・ AWS をこれから学びたい

- ・アジャイルや DevOps など開発ノウハウを得たい
- ・DXを推進したい
- ・業務システムをオンプレミスからクラウドに移行したい

● 本書の構成

Chapter 1 AWSとは何かを理解しよう

Chapter 2 最初に押さえてたい AWS の基本サービス

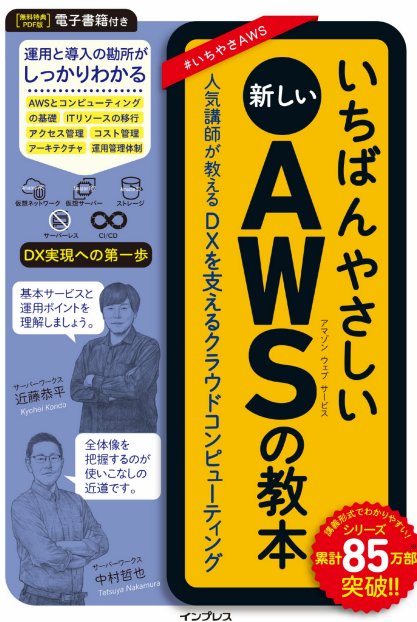
Chapter 3 サーバーレスサービスで運用コストを抑えよう

Chapter 4 コンテナサービスでスケーラブルなアプリを開発しよう

Chapter 5 クラウドで用いる開発手法

Chapter 6 開発を効率化するサービスを使いこなす

● 書誌情報



書名：いちばんやさしい新しいAWSの教本 人気講師が教えるDXを支えるクラウドコンピューティング

著者：近藤恭平、中村哲也

発売日：2023年6月14日（水）

ページ数：240ページ

サイズ：A5正寸

定価：2,178円（本体1,980円＋税10%）

電子版価格：2,178円（本体1,980円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-01660-1

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295016608/>

◇インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1120101093>

◇書影のダウンロード：<https://dekiru.net/press/501660.jpg>

● 著者プロフィール

近藤恭平（こんどう・きょうへい）

株式会社サーバーワークス。株式会社サーバーワークス。東京大学大学院新領域創成科学研究科修了。院生時代に学習塾の立ち上げに携わり、Web教材アプリの開発を担当した。そこで、開発を通じてアイデアを実現する楽しさを知る。現職では主にフロントエンド開発と、お客様へのAWSトレーニングと内製化支援を担当。

中村哲也（なかむら・てつや）

株式会社サーバーワークス。Slerで大手キャリアのインフラ構築、運用設計などを経験。その後 AWS を使用したサービスのマネージャーとして、サービス拡販のためのマーケティング業務を行う。別Slerにて広報・マーケティングの責任者として従事。2021年6月にサーバーワークスに入社。お客様への AWS トレーニングと内製化支援を担当。

■株式会社サーバーワークスについて

サーバーワークスは、「クラウドで、世界を、もっと、はたらきやすく」をビジョンに掲げ、2008年よりクラウドの導入から最適化までを支援している AWS 専門のクラウドインテグレーターです。

2023年5月末現在、1140社、17,000プロジェクトを超える AWS 導入実績を誇っており、2014年11月より AWS パートナーネットワーク（APN）*最上位の「AWS プレミアティア サービスパートナー」に継続して認定されています。

移行や運用、デジタルワークスペース、コンタクトセンターなど多岐にわたって認定を取得し、AWS 事業を継続的に拡大させています。

取得認定、実績についての詳細はこちらをご覧ください：<https://partners.amazonaws.com/jp/partners/001E000000NaBHziAN/>

*本リリースに記載された会社名、サービス名等は該当する各社の登録商標です。

*本リリースの情報は発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社サーバーワークスのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/75977

株式会社サーバーワークス

マーケティング部 マーケティング課

担当 : 川嶋、鈴木

TEL : 03-5579-8029

E-mail : marketing@serverworks.co.jp